

第112回理事会を開催

平成24年3月23日、社団法人電池工業会第112回理事会が機械振興会館で開催された。定款にもとづき本間充会長（三洋電機株式会社代表取締役副社長）が議長となり、第1号議案から第6号議案までが審議され、提出された議案はすべて可決承認された。また、報告事項についても確認された。

1. 議案

(1) 第1号議案 平成24年度電池工業会組織（案）

専務理事より平成24年度電池工業会組織（案）の説明がなされた。審議の結果、小形二次電池部会を二次電池第2部会と改称することに対して、二次電池部会の名称も別途部会内で検討することを条件に、第一号議案は可決承認された。

(2) 第2号議案 平成24年度事業計画（案）

各部会長および事務局より、平成24年度事業計画（案）の説明がなされた。
審議の結果、第2号議案は原案どおり可決承認された。

(3) 第3号議案 平成24年度収支予算（案）

経理担当部長より配布資料に基づき平成24年度収支予算（案）について説明がなされた。
審議の結果、第3号議案は原案通り可決承認された。



(4) 第4号議案 賛助会員入会の件

事務局長より配布資料に基づき賛助会員の入会申請について説明がなされた。

審議の結果、下記の賛助会員が平成24年4月1日付にて入会することが可決承認された。



(賛助会員の入会)

(敬称略)

会員名	会員代表者	事業内容
住友化学株式会社	ともまさ よしお 友政 敬雄 (無機材料事業部長)	・基礎化学製品、石油化学製品、情報電子化学製品の開発、製造ならびに販売
テトラジャパン株式会社	ちやぞの しょうじ 茶蘭 章二 (代表取締役社長)	・ペット用品販売 ・日本におけるレイオバック・ブランド電池製品のマーケティング

(5) 第5号議案 表彰者承認の件

専務理事より配布資料に基づき、平成24年度の定時総会にて退任予定の角田義人理事（副会長）の功績に対して、電池工業会規程に基づく表彰について説明した。審議の結果、角田義人理事の表彰が承認された。

(6) 第6号議案 電池工業会実施細則改定の件

事務局長より配布資料に基づき、競争法コンプライアンス・ルール制定および一般社団法人への移行に伴う実施細則変更の説明がなされた。審議の結果、第6号議案は原案どおり可決承認された。

2. 報告事項

事務局より配布資料に基づき報告事項の説明がなされた。

(1) 理事辞任の件

一般社団法人への移行に伴い、理事の定数が5名以上、9名以内と変更になる為、定款の規定に基づき下記の理事より平成24年3月31日付にて理事辞任届が提出された旨報告した。

- ・東芝電池株式会社 藤原 雅司 氏
- ・シック・ジャパン株式会社 小森 良孝 氏
- ・新神戸電機株式会社 伊藤 繁 氏
- ・セイコーインスツル株式会社 加藤 祐一 氏
- ・株式会社三菱電機ライフネットワーク 鈴木 愛司 氏

(2) 登録会員名の変更の件

定款第6条第3項の定めに基づき、下記の変更届があった旨報告された。

(正会員名の変更と代表者の交代) (敬称略)

区分	会員名	会員代表者	変更年月日
新	日立マクセルエナジー株式会社	おかふじ まさお 岡藤 雅夫 (代表取締役社長)	H24.1.1
旧	株式会社日立製作所	つのだ よしと 角田 義人 (執行役専務) (電池システム社 社長)	

(賛助会員名の変更) (敬称略)

区分	会員名	会員代表者	変更年月日
新	東レバッテリーセパレーターフィルム合同会社	とがの たけお 戸叶 威雄 (社長)	H24.2.1
旧	東レ東燃機能膜合同会社		

(3) 会員代表者の変更の件

定款第6条第3項の定めに基づき、下記の変更届があった旨報告された。

(賛助会員代表者の変更) (敬称略)

会員名	新会員代表者	旧会員代表者	変更年月日
日本ゼオン株式会社	わきさか やすひろ 脇坂 康尋 (部長)	たなか きみあき 田中 公章	H23.7.1
TDK株式会社	まるやま さとし 丸山 哲 (副センター長)	たかはし みのる 高橋 実	H23.7.1
タイコエレクトロニクスジャパン合同会社	はすぬま たかし 蓮沼 貴司 (本部長)	なかお しゅんすけ 中尾 俊介	H24.1.1
住友金属鉱山株式会社	おおした ふみかず 大下 文一 (部長)	すえなが のぶお 末永 伸夫	H24.1.23
横河電機株式会社	なかじま よしひで 中島 嘉秀 (営業本部長)	かわさき のぶゆき 川崎 信幸	H24.2.8

(4) 一般社団法人新定款の件

一般社団法人電池工業会への移行に伴う新定款案を内閣府へ事前提出したところ、内閣府より修正等の指示があった。指示のあった箇所を修正し、内閣府より認可を得た最終版(法務局登記用)を作成した旨報告した。

(5) 事務局交代者の件

帰任出向職員6名、着任出向職員5名と嘱託職員1名の氏名の紹介を行った。

以上

一般社団法人電池工業会へ移行しました

電池工業会は、公益法人制度改革関連三法の施行に伴い、平成24年4月1日をもって社団法人電池工業会から一般社団法人電池工業会に移行しました。

今回の移行に伴い、社団法人電池工業会の業務はすべて一般社団法人電池工業会に引き継がれました。

明治37年（1904年）に、日本で第2番目の乾電池製造会社の日本乾電池製造株式会社を設立したのは、岡田嘉蔵氏です。

岡田嘉蔵氏は、明治4年（1871年）3月6日に兵庫県養父郡出石町に、父嘉五郎、母モトの長男として生まれました。後に出て来る岡田乾電池の岡田悌蔵氏とは双子の兄弟で嘉蔵氏が長男になりません。

生後わずか3年で母親が他界し、7歳の時には父親も他界しました。幼少の頃から、弟悌蔵氏と共に苦難の道を歩かなければならなかったようで、初等教育も満足に受けることができませんでした。

明治24年（1891年）の20歳の時に、大志を抱いて単身アメリカに渡りました。アメリカでの詳細な記録はありませんが、当時の渡米した日本人が経験したのと同じように、皿洗いなどの労働をしながら先進国の知識を吸収していったようです。

明治28年には日本に帰国して、横浜の貿易商であるヒーリング商会に勤務することになります。ヒーリング商会では、のちに支配人の地位まで得るに至ります。当時としては、時代の先端を行く貿易商の枢要な地位を得ることになり大いに活躍しました。ヒーリング商会では、特に電気機械器具を担当していたようで、電気機器については大いに興味を持つようになったようです。

明治37年にはヒーリング商会を退いて、東京府荏原郡南品川に日本乾電池製造株式会社を設立することになります。日本乾電池製造株式会社の設立においては、当時日本ペイントの長谷川直蔵専務の協力を得ていますが、嘉蔵氏の妻の実兄に長谷川氏が当たることによるものと思われます。

日本乾電池製造株式会社は、主に平角形通信用乾電池を製造し、また乾電池の部品であるカーボン極も自社内で焼成製造を行いました。嘉蔵氏は日本乾電池製造株式会社が、大正7年に高砂工業株式会社に吸収合併されるまで、主宰者の地位で経営に当たりました。高砂工業株式会社との関係ができたのは、長谷川直蔵氏が高砂工業株式会社の原邦造社長と知己であったことに因るものと思われます。

高砂工業株式会社との合併により、岡田嘉蔵氏は乾電池製造から離れますが、その後は電気計測器の製造会社を設立することになります。しかし、この事業には失敗することになり、その後胸を患って病床に伏す結果となり、大正10年11月11日に他界しました。享年51歳でした。

二科会会員の画家として有名な岡田謙三氏（1902—1982年）は、岡田嘉蔵氏の三男に当たります。

*一部敬称略



岡田嘉蔵と妻やす（明治37年頃）



日本乾電池製造株式会社に従業員（明治38年頃）

平成24年 4月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	6日(金)	使用済み自動車用LIB研究会	事前回収物品化での課題等審議、他。
	9日(月)	広報総合委員会	新年度活動開始、名古屋でんちフェスタ審議、関西でんちフェスタ審議、でんちフェスタ審議、電池月間ポスター審議、他。
	10日(火)	広報ワーキンググループ	名古屋でんちフェスタ実施内容検討、関西でんちフェスタ実施内容検討、でんちフェスタ実施内容検討。
	20日(金)	国際環境規制総合委員会	海外環境規制に関する情報確認。
	25日(水)	広報ワーキンググループ	名古屋でんちフェスタ実施内容検討。
二次電池部会	6日(金)	自動車鉛分科会	IEC、JIS、SBA改正審議、安全表示ガイドライン審議、他。
	12日(木)	業務分科会	出荷投票実績確認審議、他。
	13日(金)	電気車鉛分科会	IEC、SBA改正審議、他。
	18日(水)	据置鉛分科会	IEC、JIS、SBA改正審議、安全表示ガイドライン審議、他。
	19日(木)	小形鉛分科会	IEC、JIS、SBA改正審議、安全表示ガイドライン審議、他。
	19日(木)	産業用電池技術サービス分科会	SBA G 0606改正審議、他。
	19日(木)	資材分科会	平成24年度活動審議、他。
	20日(金)	用語分科会	IEC、JIS、SBA改正審議、安全表示ガイドライン審議、他。
	20日(金)	充電器分科会	SBA S 0903改正審議、9資-04見直し審議、他。
	23日(月)	産業電池委員会	産業用電池用途、他。
	24日(火)	産業用電池統計分科会	産業用電池統計数値の確認。
	25日(水)	自動車電池委員会	SBRA新リサイクルシステム進捗審議、他。
	26日(木)	産業用電池リサイクル委員会	産業用電池リサイクルスキームの検討。
小形二次電池部会	9日(月)	次世代蓄電池委員会	企画書(改定版)の審議。
	11日(水)	LIB安全性技術委員会	産業用蓄電池の安全性試験規格への対応協議。
	12日(木)	据置LIB分科会	JIS C 8715-2 原案審議。
	13日(金)	PL委員会	表示ガイドラインに関する審議。
	16日(月)	法規ワーキンググループ	消防法改正対応審議。
	18日(水)	ニカド・ニッケル水素分科会	SBA規格の見直し。
	19日(木)	据置LIB分科会	JIS C 8715-2 原案審議。
	19日(木)	国際電池輸送委員会	リチウム電池の航空輸送規制強化の周知対応の協議。
	20日(金)	リチウム二次分科会	SBA規格の見直し。
	23日(月)	再資源化委員会	小形充電式電池の識別表示ガイドラインに関する審議。
	24日(火)	第55回 据置LIB分科会	JIS C 8715-2 原案審議。
24日(火)	国際電池規格委員会	IEC、ITU、IEEE、ANSI、UL、中国LIB安全規格審議。	
25日(水)	第56回 据置LIB分科会	JIS C 8715-1 原案審議。	
27日(金)	業務委員会	統計数値確認、運営方針再検討。	
一次電池部会	11日(水)	環境対応委員会	UNEP INC4に向けて アルカリボタン電池適用除外の再検討。
	12日(木)	リチウム小委員会	IEC60086-4 CD/IEC62281 CDVの審議、ICAO WG対応、他。
	13日(金)	規格小委員会	JIS C 8500、JIS C 8515、JIS C 8514、IEC60086シリーズ改正審議。
	15-19日	器具委員会	携帯電灯規格の改訂(中国市場調査、市販品の性能検査)、他。
	18日(水)	環境対応委員会	UNEP INC4に向けて アルカリボタン電池適用除外の再検討。

万が一に備える非常用電源、家庭用・オフィス用の移動電源として キャリングハンドルで持ち運べる最大出力1200Wのハイパワー電源 ポータブル蓄電池「Energy Station (エナジーステーション)」を新発売

日立マクセル株式会社



ポータブル蓄電池「Energy Station」(M-PAC01B)

日立マクセル株式会社（取締役社長：千歳 喜弘、以下マクセル）は、ピークシフトによる節電対策や停電時の非常用電源として利用できる最大出力1200Wを備えたポータブル蓄電池「Energy Station (エナジーステーション)」を2012年4月20日より発売します。

- ◎くり返し充電できるリチウムイオン電池搭載。最大出力1200Wのハイパワー!
- ◎発電機のような騒音がなく、夜間や室内でも使えます!
- ◎片手で簡単に持てるキャリングハンドル付き!持ち運びにとっても便利なポータブル設計!
- ◎複数台をつないで、電池容量アップ! 連結することで使用時間の延長が可能です!

防災意識の高まりとともに、家庭内や企業オフィス内における災害時の停電に対応する非常用電源、節電や電力使用のピークシフト対策として蓄電池に注目が集まっています。

今回、マクセルが発売する「Energy Station」は、くり返し充電できるリチウムイオン電池を搭載したポータブル蓄電池です。リチウムイオン電池は燃料式の発電機などに比べて騒音がなく、排気ガスも発生しないため、夜間や室内の使用にも適しています。キャリングハンドル付きで持ち運びやすいだけでな

く、屋外でのイベントやアウトドアでも活躍するポータブル設計としました。

255Whの電池容量に最大出力1200W（連続90秒）のハイパワー出力を備え、さまざまな機器で利用できます。より長時間使いたい場合は、複数台を連結することで電気機器の使用時間を延長することができます。また、ACコンセントから「Energy Station」を中継して電気機器に接続することで、充電しながらの使用（バイパス出力機能）が可能で、停電の発生時には非常用電源*1として機能します。

災害時に停電で通信機器が使えないときや夜間で灯りが無い場合には、小さな電源でも救われることがあります。本製品では携帯電話（10Wh相当）で22台の充電、照明器具（20W相当）で約8時間の点灯が可能*2です。「Energy Station」を満充電で保管*3しておいた場合、緊急時の電源として活躍します。

今後ともマクセルはライフラインを支えるエネルギーソリューションの一環として電池製品を強化し、ユーザーの生活に密着した便利で役に立つ商品のラインアップを拡充していきます。

*1 本製品は無停電電源装置(UPS)ではありません。内蔵電池に切り替わる際に、一旦、出力が停止します。

*2 動作時間は当社試験結果に基づく目安です。数値は電池残量や保管状況、お使いの機器により異なります。

*3 満充電で保管した場合、年間で約10%の容量減となります。長期保管の場合は、1年に1回は充電してください。

<製品情報>

品種	型番	発売日	価格
ポータブル蓄電池	M-PAC01B	4月20日	オープンプライス

【主な特長】

1. くり返し充電できるリチウムイオン電池搭載。最大出力1200W*4のハイパワー!

くり返し充電できるリチウムイオン電池を搭載しています。容量255Whで、約9時間で満充電が可能です。最大出力1200Wのハイパワーで、電動工具などの高出力の機器でも使用できます。

2. 発電機のような騒音がなく、夜間や室内でも使えます!

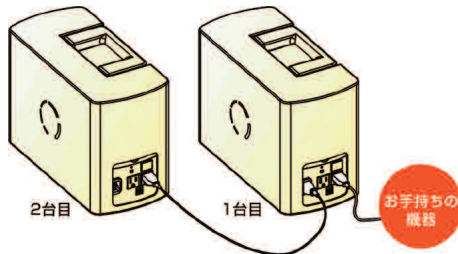
リチウムイオン電池は燃料式の発電機のように騒音や排気ガスが発生しません。静かな排気レス設計なので、夜間や室内での使用も可能です。

3. 片手で簡単に持てるキャリングハンドル付き! 持ち運びにとっても便利なポータブル設計!

キャリングハンドル付きで持ち運びやすく、片手が空くので扉の開閉もスムーズです。室内の移動だけでなく、屋外でのイベントや展示会、アウトドアにも適したポータブル設計です。

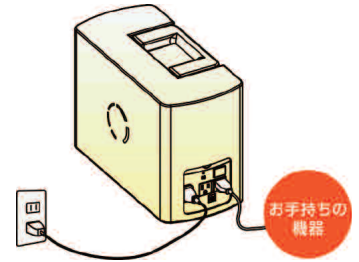
4. 複数台をつないで、電池容量アップ! 連結することで使用時間の延長が可能!

より長時間使いたい場合は、複数台を連結することで容量の増加が可能です。電気機器の使用時間を延長することができます。



5. 充電しながら電気機器が使用可能なバイパス出力機能!

ACコンセントから中継して電気機器に接続することで、充電しながらの使用が可能です。停電の発生時には蓄電池が非常用電源*1として機能します。



6. オートパワーオフ機能搭載!(約30分)

コンセントカバーを開けた状態で、30分以上電気機器が使用されていない場合*5、自動的に出力が停止するオートパワーオフ機能を備えた省エネ設計です。

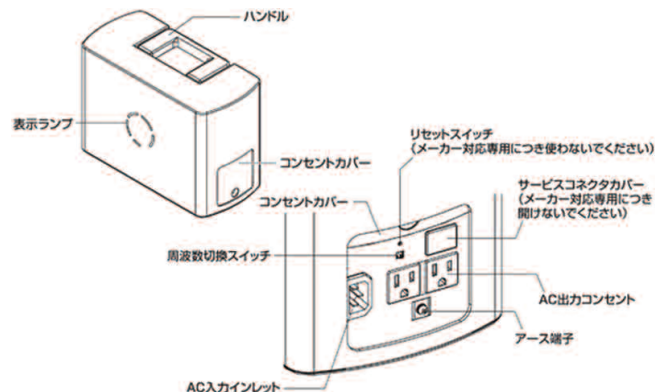
7. 50Hz(東日本)/60Hz(西日本)の切り替えスイッチ付き

*1 本製品は無停電電源装置(UPS)ではありません。内蔵電池に切り替わる際に、一旦、出力が停止します。

*4 最大出力1200W使用時の連続動作時間は約90秒です。

*5 10W以下の電気機器接続時は無負荷検出機能が働きます。

【各部の名称】



<製品仕様>

型番	M-PAC01B	内蔵電池	充電式リチウムイオン電池 255Wh
出力電圧	AC100V 50/60Hz	使用環境条件	0~40℃
連続出力時間	AC100V 50/60Hz 225W 60分 AC100V 50/60Hz 900W 13分 (最大 AC100V 1200W 連続90秒)	使用場所	屋内・屋外
充電電圧	AC100V	本体寸法	幅386mm×奥行180mm×高さ268mm
充電時間	約9時間	本体質量	約12kg
		付属品	ACケーブル 1本、取扱説明書(保証書付き)

2月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2012年2月）

単位：数量—千個、金額—百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

（2009年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「二輪用」が含まれました）

（2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました）

（2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました）

（2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました）

（2011年6月より経済産業省の機械統計が「酸化銀電池」に「その他の乾電池」が含まれました。）

（2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン電池」に「車載用」が新設されました。）

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	374,954	72,854	93%	136%	688,300	134,069	87%	127%
一次電池計	243,051	8,147	92%	105%	446,000	14,616	89%	102%
酸化銀電池	75,036	1,434	91%	120%	151,026	2,825	93%	121%
アルカリ乾電池計	96,434	3,938	103%	112%	161,346	6,534	98%	107%
単 三	53,848	1,842	102%	107%	90,470	3,103	99%	107%
単 四	26,509	912	108%	124%	43,895	1,555	105%	126%
その他	16,077	1,184	99%	110%	26,981	1,876	87%	96%
リチウム電池	71,581	2,775	81%	90%	133,628	5,257	77%	88%
二次電池計	131,903	64,707	94%	141%	242,300	119,453	85%	131%
鉛電池計	2,920	14,945	112%	110%	5,762	29,542	108%	106%
自動車用	2,160	8,642	114%	114%	4,305	17,601	109%	106%
その他の鉛蓄電池	760	6,303	108%	104%	1,457	11,941	108%	106%
アルカリ蓄電池計	51,489	20,237	125%	176%	100,325	38,410	114%	175%
ニッケル水素	38,432	18,434	134%	195%	72,961	34,752	117%	194%
その他のアルカリ蓄電池	13,057	1,803	104%	88%	27,364	3,658	107%	90%
リチウムイオン蓄電池計	77,494	29,525	80%	142%	136,213	51,501	71%	123%
車載用	2,767	13,776	—	—	4,435	22,565	—	—
その他	74,727	15,749	—	—	131,778	28,936	—	—

2月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2012年2月）

単位：数量－千個、金額－百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	178,107	26,973	80%	113%	323,211	47,911	78%	104%
一次電池計	77,491	1,883	70%	94%	145,303	3,501	74%	95%
マンガン	433	12	34%	33%	452	14	25%	30%
アルカリ	3,596	60	15%	18%	7,302	133	22%	27%
酸化銀	40,679	576	96%	121%	75,475	1,065	98%	125%
リチウム	32,687	1,073	79%	94%	61,935	2,080	78%	98%
空気亜鉛	86	1	5%	5%	86	1	3%	2%
その他の一次	10	162	28%	3578%	53	208	91%	167%
二次電池計	100,615	25,089	90%	115%	177,908	44,410	81%	104%
鉛蓄電池	129	1,107	85%	154%	257	1,728	98%	141%
ニカド	9,949	833	101%	94%	20,917	1,758	105%	97%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	0	—	—
ニッケル水素	11,375	3,756	100%	105%	20,935	7,149	89%	105%
リチウムイオン	73,283	16,195	85%	106%	124,914	27,779	75%	93%
その他の二次	5,879	3,198	128%	227%	10,885	5,996	121%	199%
全電池合計（輸 入）	88,691	8,013	113%	123%	216,743	16,060	124%	111%
一次電池計	80,729	978	111%	113%	200,647	2,216	125%	109%
マンガン	13,802	130	90%	87%	40,298	281	94%	76%
アルカリ	52,751	561	111%	111%	133,422	1,364	138%	135%
酸化銀	320	8	112%	180%	622	16	92%	123%
リチウム	9,675	204	127%	115%	17,441	418	117%	105%
空気亜鉛	4,176	51	278%	215%	8,419	107	193%	156%
その他の一次	3	24	1%	320%	446	30	55%	17%
二次電池計	7,962	7,036	140%	125%	16,095	13,844	117%	111%
鉛蓄電池	608	2,424	95%	113%	1,296	4,762	98%	107%
ニカド	1,562	213	852%	172%	2,316	366	298%	103%
ニッケル鉄	0	0	2%	30%	0	0	1%	15%
ニッケル水素	1,251	467	—	—	2,986	811	—	—
リチウムイオン	3,897	2,741	—	—	7,351	5,090	—	—
その他の二次	644	1,190	—	—	2,147	2,814	—	—